

戦争法案廃案へ広がる共同

「立憲主義を覆すな」

神奈川・綾瀬 超党派9市議が宣伝



法案の慎重審議を求めて訴える9市議。右から5人目が増田氏＝20日、神奈川県綾瀬市

神奈川県綾瀬市で20日、安全保衛閣連法案の慎重審議を求める綾瀬市議会議員有志の同法(戦争法案)の

慎重審議を求める意見書(反対10で否決)に賛成した9人が「今進行している事態は、日本の民主主義、立憲主義を根底から覆すことにつながる」として、強行採決などを行わないよう超党派でアピールしようと結成した。構成は、あやせ未来会議4人、日本共産党市議団2人、無党派3人です。

田澤一郎団長は、宣伝で「私は自民党の議員です。(同会議の)比留川(政孝)さんも自民党員です」とあいさつし「法案は必要なのかもしれないが、自民党はあまりに急ぎすぎていると訴えました。アピールヒラを受け取った白井幸子さん(39)は「綾瀬市でも党派を超えた面会的な取り組みが見られて、心強い」と喜びました。

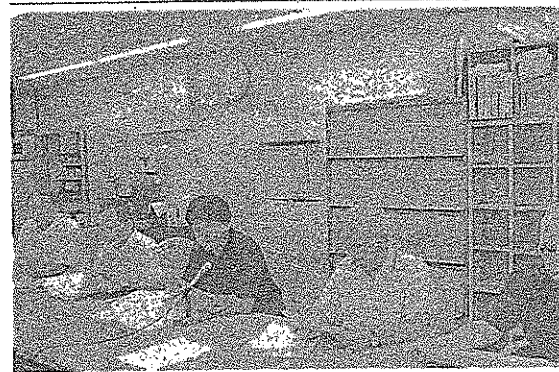
宣伝後、増田氏は、自衛隊を支援する「綾瀬市議会防衛議員連盟」のメンバーだと明かし「自衛隊がアメリカ(軍)の下請けのようになってしまう」と語りました。

8/21 赤松

静岡大学有志の会の声明 賛同者など170人に

「安全保衛閣連法案」に反対する静岡大学有志の会は19日、静岡県庁で記者会見し、インターネットで7月24日に公表した「安全保衛閣連法案」の強行採決に抗議し、廃案を求める声明の呼びかけ人と賛同者が、同日までに合わせて170人となったと発表しました。

呼びかけ人は同大学の現職教員・理事が31人、退職者12人、卒業生14人。卒業生の中に



記者会見する石原氏(中央)ら静岡大学有志の会メンバー＝19日、静岡県庁

は、日本共産党の鈴木ちかや参院静岡選挙区候補、平賀高成県議も加わっています。賛同者の中には現役大学生・院生6人が入っています。

会見で石原剛志事務局長(静岡大学教育学部教員)は、「今後は学生の賛同者を増やしたい」と述べ、その声を国会議員や政界事務所に届けていくと語りました。

賛同者からは、「教師として、こんな道

が通るならば今やっける教育活動の意味を否定していることになる」と感じます。この法案必ず止めたい(2)009年卒業生、高校教員、「こんな政府が国民を丸めこみ決してやうとしているのは民主主義でないのは火を見るよりあきらか。断固反対せねばならない(学生)などのメッセージが寄せられています。

「安倍首相談話」「日朝協会が抗議」「安倍首相による「戦後70年談話」について」日朝協会は「このほかに「戦争する国」への「宣言ともいえるべき「談話」に断固抗議する」とした声明を発表しました。

声明では、朝鮮半島を侵略し、植民地支配したこの歴史を美化することは絶対に認められない」と批判。

「談話」を発表した記者会見で、戦争法案を強行する姿勢を示したことにふれ「このことは、『談話』が平和の構築を旨とするものではなく、『戦争法案』を進めるものであり、日本国民としては到底認められない」として、